地域社会学会会報

No.249　　2026 .1.30

地域社会学会事務局　　Office of Japan Association of Regional and Community Studies
〒240-8501　横浜市保土ヶ谷区常盤台　　横浜国立大学都市科学部
齊藤麻人研究室内
TEL　045-339-3291(直)　FAX　045-339-3291　郵便振替　地域社会学会　00150-2-790728
E-mail jarcs.office@gmail.com　　URL　http://jarcs.sakura.ne.jp/

◆…… 〈　会報 249 号のトピック　〉 ……◆

1) 学会ウェブサイト変更と研究例会開催回数についてご案内しています。ご確認ください。
2) 2025年度の会費納入をお願いします。2023年度よりSMOOSYによるクレジットカード決済を原則としています。振込用紙の送付は行っておりませんので、サイトよりご確認お願いします。

目　次

1. 理事会からの報告
2. 研究委員会からの報告
3. 編集委員会からの報告
4. 国際交流委員会からの報告
5. 社会学系コンソーシアム担当からの報告
6. 学会ウェブサイト変更について
7. 研究例会の開催回数について
8. 事務局からの報告
9. 会員異動
10. 理事会のご案内

2025年度第４回研究例会のご案内

日時　　2026 年　２月８ 日（日）13:30～17:00
会場　　東京大学本郷キャンパス法文1号館215教室
（対面と ZOOMによるハイフレックス形式）
※アクセス方法等は、開催 2日前をめどに、会員メーリングリストで配信します。

第1報告：「地域脱炭素政策分野での中間支援体制の構築と事業展開―欧州と日本における動向から」
報告者　平岡俊一（滋賀県立大学）

第2報告：「環境ガバナンスにおける政策転換―熊本県荒瀬ダム撤去の政策過程分析」
報告者　大野智彦（名古屋大学）

2月8日（日）開催の第4回研究例会ご参加のみなさまへのお知らせとお願い

1. 会場にお越しのみなさま

●会場：東京大学本郷キャンパス法文１号館２１５教室

【会場へのアクセス】

最寄り駅からのアクセスhttps://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/campus-guide/map01_02.html

本郷三丁目駅（地下鉄丸の内線）より徒歩8分

本郷三丁目駅（地下鉄大江戸線）より徒歩6分

湯島駅又は根津駅（地下鉄千代田線）より徒歩8分

東大前駅（地下鉄南北線）より徒歩1分

春日駅（地下鉄三田線）より徒歩10分

２．オンラインでの参加のみなさま

＜事前の準備のお願い＞

- ◆ 事前に Zoom のアプリをインストールしておいてください。インストール済みの方は、「アップデートを確認」で最新バージョンに更新しておいてください。
- ◆ Zoom のアクセス方法等は、開催 2 日程度前をめどに、会員メーリングリストで配信します。
- ◆ Zoom のリンクやミーティング ID、パスワードは、他人に教えないでください。

＜当日のお願い＞

- ◆ 待機室を設定している場合、所定時刻の 5 分ほど前に設定を解除して入室できるようにします。
- ◆ ただし、直前の打ち合わせが長引くなどで、待機室の設定解除が遅れることもあります。その場合は待機室でお待ちください。
- ◆ ミーティングルームに入ったら、司会者と報告者以外は、マイクは「ミュート」にして、発言時のみ「ミュート解除」にしてください。ビデオはオンでもオフでも結構です。適切な操作がなされていない場合には、主催者がミュートにするなどの操作をすることがあります。
- ◆ 画面に表示する氏名は、「フルネーム（所属）」に変更しておいてください。
- ◆ 研究例会は、研究委員会が記録用にレコーディングします。接続・参加をもってレコーディングに承諾いただいたものとみなします。研究委員会以外の方（報告者も含めて）が Zoom の画面を撮影したり、録画・録音したりすることは禁じます。

＜配布資料について＞

- ◆ 報告者から当日配布資料があるときは、Zoom　のチャット機能を利用して配布します。
- ◆ 配布のタイミングは、各報告の開始時と開始 10 分後の 2 回です。

＜質問・発言について＞

- ◆ 以下のいずれかの方法でお願いいたします。

①Zoom　の「リアクション」にある「手を挙げる」を表示させる。
②Zoom のチャットに、質問内容を書き込む
③Zoom のチャットに、質問がある旨を書き込む

＜Zoom 終了後の交流時間の取りやめについて＞

- ◆ オンライン開催では、研究例会の終了後もしばらく Zoom を開放し、報告者・参加者の交流の時間としてきましたが、今回はハイフレックス開催のため片付け等の都合から、Zoom　での交流時間は設けないこととさせていただきます。

＜当日の Zoom 操作に関する相談窓口＞

- ◆ 当日、「接続できない」などの不測の事態に備えて、Zoom操作に関する相談窓口としてサポートセンターを開設します。メールでご連絡ください。

当日サポートセンターの連絡先

- ◇ メールアドレス　saito-asato-nb[アット] ynu.ac.jp ［アット]を@にしてください。
- ◇ 当日配布資料の再配布はありません。

＜問い合わせ先＞

- ◆ 当日の Zoom 操作に関すること以外は、研究委員長（室井研二、muroi.kenji.w9 [アット] f.mail.nagoya-u.ac.jp）までメールでお問い合わせください。[アット]を@にしてください。

１．　理事会からの報告

2025 年度地域社会学会第 3 回理事会は、2025 年 12 月 14 日（日）10 時半～12 時半までノートルダム清心女子大学（＋オンライン）で行われました。出席者は以下の通りです（敬称略）。

小山弘美、齊藤麻人、阪口毅、佐藤洋子、清水洋行、武田俊輔、辻岳史、二階堂裕子、野坂真、平井太郎、藤井和佐、前島訓子、町村敬志、松宮朝、三浦倫平、室井研二、矢部拓也、望月美希、山口博史、渡邊隼

理事会では報告事項 5 件、審議事項 6 件が議論されました。

（齊藤麻人）

２．　研究委員会からの報告

去る 12 月21 日（日）、 2025年度第 3 回研究例会がノートルダム清心女子大学にて開催されました（ハイブリッド形式）。齊藤康則会員と若手WGの諸氏（都築則彦、中島みゆき、前島訓子、八木寛之会員）から充実した報告が提供され、地方における気候変動適応や地域開発の今日的動向について実りのある討論が行われました（報告会後の懇親会も盛況でした）。当日の報告、質疑の概要は『地域社会学会ジャーナル』第24号の報告論文と批評論文をご参照ください。

研究例会に先立ち、10月28日に第3回研究委員会をオンラインにて開催し、大会運営の手順や分担、シンポジウムのテーマ・登壇者について検討しました。また、今後の研究例会の運営の見直しや若手支援のあり方についても議論しました。

第4回研究例会は2月8日（日）に東京大学本郷キャンパスで開催されます（ハイブリッド形式）。「環境変動適応と地域社会」という研究課題への理解を深めるべく、平岡俊一会員（滋賀県立大学）に「地域脱炭素政策分野での中間支援体制の構築と事業展開―欧州と日本における動向から」、大野智彦氏（非会員、名古屋大学）に「環境ガバナンスにおける政策転換―熊本県荒瀬ダム撤去の政策過程分析」と題する報告をしていただく予定です。政治学と社会学の接点を探る貴重な機会になると思います。多数のご参加をお待ちしています。

地域社会学会第 51 回大会の予告、自由報告の募集

地域社会学会第 51 回大会が、2026 年 5 月 23 日（土）・24 日（日）の両日、弘前大学にて開催されます。自由報告を希望される方は、以下の手順で自由報告への応募をお願いいたします。

(1) 報告の題目と簡単な内容（100 字程度）の提出

2026年 2 月末日必着で、メールにてお送りください。メールアドレスは下記のとおりです。メール受信後、行き違いを避けるために受理確認メールを返送します。受理確認メールが届かない場合は、メールその他の手段で下記連絡先に連絡してください。

(2) 報告要旨（A４版用紙で 40 字×40 行を 1 枚）の提出

2026 年 3 月20日（金）必着で、報告要旨を電子ファイル（Word）で作成し、メールに添付してお送りください。送付にあたり、PDF ファイルもあわせてお送りください。こちらが会報（プログラム・報告要旨集）の原稿となります。

〈提出先・連絡先〉

E-mail：muroi.kenji.w9◆f.mail.nagoya-u.ac.jp（◆を@にしてください）

〒464-8601 名古屋市千種区不老町 名古屋大学大学院環境学研究科 室井研二

電話：052-789-2273

【会費をまだ納入されていない会員の方へ】

自由報告を行う場合、2025年度までの会費が納入されている必要があります。

【現在非会員で報告を希望される方へ】

自由報告は会員であることが必要です。現在非会員の方で自由報告を希望される方は、2 月8日（土）に開催される理事会で入会が承認される必要があります。該当する方は、下記のサイト（本学会のHP https://jarcs.sakura.ne.jp/main/membership/index.html）から、2月5 日（木）までに入会申込をお願いいたします。

（室井　研二）

３．　編集委員会からの報告

2025年12月2日～12月6日に第4回編集委員会をメール会議で開催し、年報第38集（2026年5月刊行予定）の編集の進捗状況について話し合いました。特集論文は、大会シンポジウムの登壇者に寄稿を依頼し、解題を含め計4本が掲載される予定です。また書評5本、書評リプライ1本、自著紹介1本が掲載される予定です。お忙しいなか、査読や執筆をお引き受けくださった皆様に、この場を借りてお礼申し上げます。

（松宮　朝）

４．　国際交流委員会からの報告

ウィーンにて2026年7月20～22日に開催される、ISA／RC21国際研究集会の参加登録が1月30日から開始されます。以下のサイトを確認のうえ、お申し込みください。

https://rc21-vienna2026.org/registration/

（小山弘美）

５．　社会学系コンソーシアム担当からの報告

去る 1 月 24日に，社会学系コンソーシアム第 18回評議員会がオンラインで開催されました．また、今年度のシンポジウムの詳細が以下の通りに決まりました．

参加については，事前申込が必要ですので，以下の情報や社会学系コンソーシアムのウェブサイトから各自お申込をお願いします．

社会学系コンソーシアム2025年度（第18回）シンポジウム「研究倫理・調査倫理の現在」開催のお知らせ

日時：2026年3月8日（日）13:00～16:30
方法：オンライン開催（Zoomウェビナーによるオンライン開催）
（登録フォームにご記入いただいたアドレスに、後日、ZoomウェビナーのURLを送付）
参加：一般参加可能、参加費無料です。以下のURLにアクセスして必要事項を入力ください。こちらの登録フォームに記入いただいたメールアドレスに、後日、参加に必要なZoomウェビナーURLをご案内します。
https://forms.gle/DKpfgmbHjQjGEqNv6

（三浦倫平）

６．　学会ウェブサイト変更について

地域社会学会では会員管理システムに SMOOSY を使用していますが、この度、ウェブサイトについても SMOOSY を運営するアトラス社の仕様に変更され、運用を開始したのでお知らせします。なお、旧ウェブサイトも当面の間は併存します。

旧）https://jarcs.sakura.ne.jp/
新）https://jarcs.smoosy.atlas.jp/ja

（山口博史）

７．　研究例会の開催回数について

地域社会学会の研究例会は、これまで年 4 回開催されてきました。

しかし、各回 2 人の報告者と批評論文執筆者を確保することが難しくなっていること、地域社会学会ジャーナルの編集業務負担、くわえて学内業務の増加による大学教員の繁忙化といった現実があり、従来の回数を維持することが困難になってきています。この状況にたいして理事会では協議

を続けています。
前回の会報 248 号では研究例会の回数削減についてご意見を募りました。Google フォームで回答をお寄せくださった会員の皆さまにおかれましては大変ありがとうございました。回答には、研究例会の運営体制を見直すことで現行の年 4 回を維持する意見や、削減に賛成する意見などがありました。理事会ではこれを受けて協議した結果、研究例会の回数について、一律に 3 回に削減するのではなく、その時の研究委員会の裁量によって 4 回または 3 回と決められることにしてはと考えております。これは研究委員会のテーマ設定によって、報告者や執筆者の手配状況は変わりえること、また理事会や事務局の状況に応じた柔軟な運営を確保したいとの思いからです。この提案につきましても Google Form を会員 ML で送りますので、ご意見をお寄せいただければ幸いです。提出されたご意見を参考に、最終的な判断を行いたいと思います。
なお記名としておりますが、理事会外にお名前が公表されることはございません。忌憚なくご意見をお聞かせいただけましたら幸いです。

（研究委員会委員長　室井研二）

８．　事務局からの報告とお願い

（１）会費納入状況
2026 年 1 月 28 日時点の会員は 406 名（一般 340 名、院生 42 名、終身 24 名）で、2025 年度の会費納入率は 64％でした。
（２）会報 248 号・ジャーナル No.23 の発行
地域社会学会会報 248 号と地域社会学会ジャーナル No.23 が学会ＨＰ上で発行されました。
（３）会費納入のお願い
2025 年度会費につきましては、7 月 1 日付で納付のご案内を発出しています。**引き続き会費納入にご協力をお願いします。**
（４）会員の研究成果情報の提供のお願い
2024 年以降の研究成果に関する情報を募集しています。用紙（地域社会学会 WEB サイトからダウンロードできます）の情報を、事務局宛のメールでお送りください。ご協力よろしくお願いします。万一、情報を提供したのに掲載されていないなどの手違いがございましたら、事務局まで御一報くださいますようお願いします。

（齊藤麻人）

９．　会員異動

＜新入会員＞
桐谷詩絵音（筑波大学）都市でのデモ・街頭討論・路上パフォーマンス（推薦人：祐成保志）

＜退会＞
中筋直哉（法政大学）

（以上、2025 年 12 月 14 日理事会で承認）

１０．理事会のご案内

第４回理事会
日時　２月８日（日）午前 10 時半～
場所　東京大学本郷キャンパス法文 1 号館 215 教室